



協働型地域おこし協力隊
みずまる かずき
水丸 和樹さん

着任：令和4年7月(1年目)
出身：新冠町

一これまでの経歴について教えてください。

幼少からコンピューターやロボットに興味があり、中学時代にプログラミングの本を読んで勉強しました。しっかり学ぶため、苫小牧工業高等専門学校から北海道大学に進学しました。修士課程2年で、ウェブ開発を受託する会社を起業しました。現在は博士課程3年生です。

一厚真町ではどんなことをしていますか？

町内のミーツ株式会社で、システムエンジニアとしてサービス提供用のアプリケーション開発などを担当しています。

一厚真町に来たきっかけは？

同社がシステムエンジニアを探していた時に、知人を通じて代表と知り合いました。準備を進めている事業内容の説明を受け、地域に必要で面白そうな事業だと思い

ました。共感できることも多かったので、システムエンジニアとして関わろうと思いました。

一どんな会社ですか？

助け合いのサービスを提供し、地域の課題を解決しようという会社です。例えば、通院などの移動手段や雪かき、草刈り、窓ふきなど、困りごとを抱える人に協力者をマッチングします。事業を通じた人との出会いでコミュニティを作ること、さまざまな分野の課題解決につながるかと考えています。年内にサービスをスタートさせるための準備を進めています。

一厚真町の印象を教えてください。

海、山、川といった自然が近くにある生活はいいなと思います。地域住民との距離が近く、関係性を強く出ることが会社のサービスにつながると思っています。厚真町には各分野で活動している人が多く、とても刺激があります。生活は大変充実しています。

一3年後の目標は？

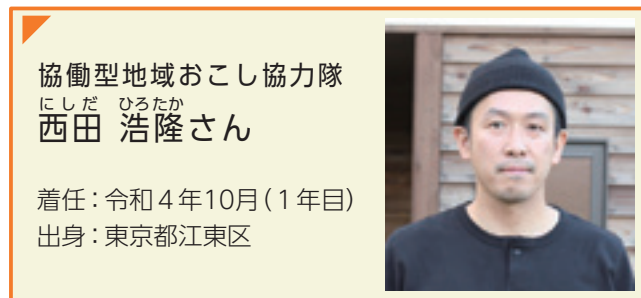
当面は、サービスの知名度を広げて成功させることです。その後、北海道に限らずサービスを拡大するのが目標です。2年後は20代最後の年。何か一つ作り上げて締めくくりたいです。

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊 (11月末現在)

農業支援員▷9人 教育魅力化支援員▷3人
起業型▷6人 協働型▷15人



協働型地域おこし協力隊
にしだ ひろふみ
西田 浩隆さん

着任：令和4年10月(1年目)
出身：東京都江東区

一これまでの経歴について教えてください。

中学生のころから料理に興味を持ちはじめ、いずれ海外で働きたいと思っていました。高校卒業後、イタリア料理のレストランへ就職し、3年間勤務したのちにイタリアへ渡り、6年間経験を積んできました。帰国後は東京都内で都市型農業事業やレストランを立ち上げました。

一厚真町では何をしていますか？

町内のOPEN TOWN厚真一般社団法人で、総料理長として働いています。古民家を活用して既にオープンした民泊や施設公開に加え、来年の春にレストランをオープンさせるため、メニュー開発や北海道内の各地をまわって生産者との関係を構築しています。

一どのような会社ですか？

フォーラムビレッジ内の古民家を活用して、関係人口

の創出事業を行っている会社です。食事や休憩所、宿泊所を提供したいと考えています。冬の間に近隣の食材を使った加工食品を開発するなど準備を進めています。

一厚真町に来ようと思ったきっかけは？

町内で事業を行っているGOODGOOD株式会社の河合さんとは、イタリアからの帰国後から面識があり、ジビエ関連のイベントなどでも一緒したことがありました。河合さんから、今回の事業の話聞き、視察にきてぜひやってみたいと思い移住しました。

一厚真町の印象を教えてください。

なだらかな丘や農業用の大きな倉庫などが立ち並ぶ風景が、ヨーロッパに似ている印象です。明け方に霧が出て、日が昇るころに霧が晴れる所がイタリアのパルマに似ていて、懐かしさを感じます。

一3年後の目標は？

今後、このエリアをひとつのコミュニケーションの場として、近隣の農家さんなどと連携して飲食のイベントやマルシェを開催し、外から人を誘致できるようにしたいです。農業の経験を生かして自分で作った食材を使った料理も提供し、養鶏やキジ、生ハムの生産などにも挑戦していきたいと思っています。